殿

釜ヶ崎反失業連絡会

代表　山田　実

**「センター夜間開放」へのご支援にお礼申し上げると共に、その後の経緯に不手際の有りましたことをお詫び申し上げます。**

冠省　貴下ますますご清栄の段、お喜び申し上げます。また、釜ヶ崎労働者の置かれている状況にご理解賜り、常に変わらぬご支援をいただいておりますことを、釜ヶ崎の労働者に成り代わり、厚く御礼申し上げます。

　すでに旧年のこととは成りましたが、私どもが昨年１１月末、大阪府・市に対して要求を提出いたしました「釜ヶ崎緊急越年対策」につきましては、成り行きについて格別ご高配を賜り、私ども単独では実現が危ぶまれていた成果を見ることができました。経緯とお礼につきもっと早くご挨拶申し上げるべき所、越冬期間中の多忙に紛れ、今日まで日を過ごしてしまいました。釜ヶ崎の状況をご斟酌の上、なにとぞご容赦いただきますようお願い申し上げます。

　また、お骨折りいただきました「センター夜間開放」については利用期間について「臨泊実施期間」を除くことになっておりましたが、野宿を余儀なくされる労働者が目に見えて増加する状況にせかされるまま、何らご挨拶・相談することもなく、「違約」する挙に出ましたことは、まことに不手際のそしりを免れず、ご不快をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

　もとより釜ヶ崎の諸課題を解決して行くについては、私どもの力だけでは大いに不足であり、諸方皆々様のご理解とご支援がなければなしえないことを重々承知しておりながら、今回のような不手際を引き起こしましたことは、私のいたらぬ所であります。ではありますが、釜ヶ崎の状況に免じ、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

　「センター夜間開放」は労働者の雨露しのぐ最低限度のものに過ぎません。寒さまでは防ぎきっておりませんし、対策として固定されるべきものでもありません。「センター夜間開放」問題解決にいたるまでの緊急避難措置というべきものです。本当に必要とされているのは、この後に続く施策であります。不手際を省みずこのように書き連ねることは、「ふてぶてしい」と受け取られかねないとおもんばかりながら、これまでのご厚情に甘え、あえて言上申し上げる次第です。

　釜ヶ崎の今後につきましても、更なるご理解とご支援を、お願い申し上げます。

　なお、この間の経過につきましては、添付「経過報告」をご参照いただけますようお願い申し上げます。

敬具